

経営比較分析表（平成30年度決算）

兵庫県 豊岡市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	小規模集合排水処理	I2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ² 当たり家庭料金(円)
-	33.55	0.17	100.00	3,348

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
82,037	697.55	117.61
處理区域内人口(人)	處理区域面積(km ²)	處理区域内人口密度(人/km ²)
138	0.11	1,254.55

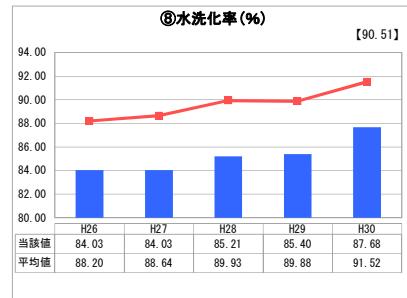
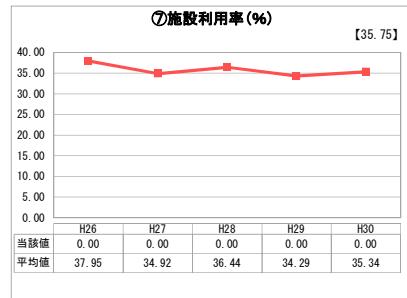
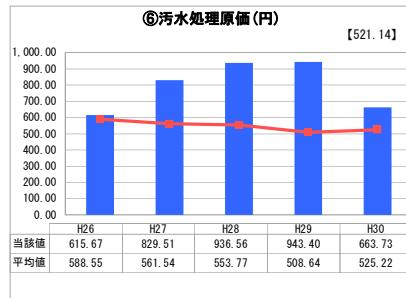
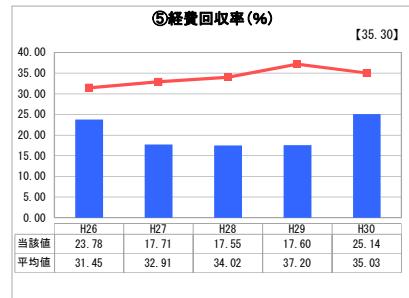
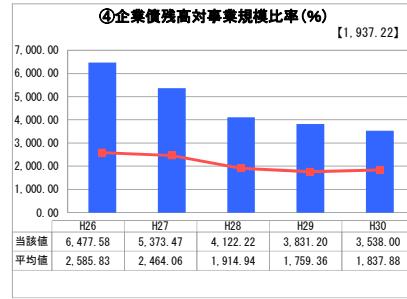
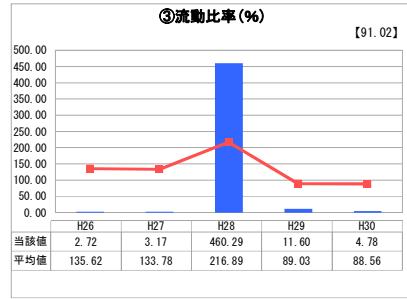
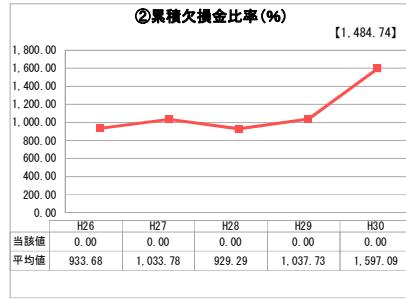
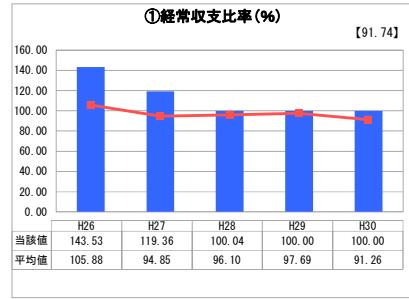
グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成30年度全国平均

分析欄

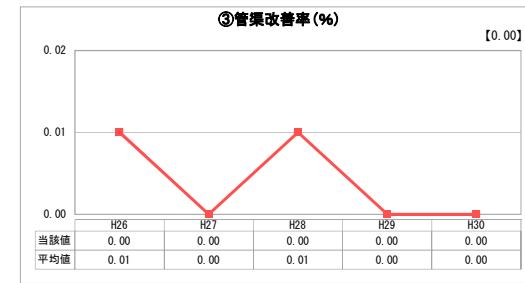
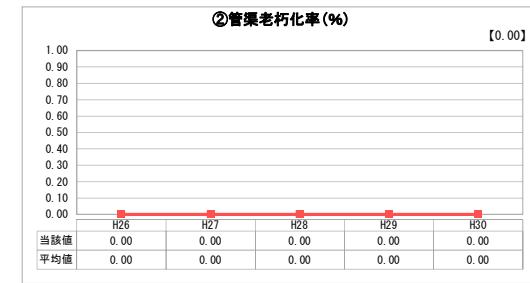
1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は健全な数値を維持できている。
 ⑤経費回収率が低いのは、収益が一般会計からの総入金に依存していることと、汚水処理費が高いことが理由である。汚水処理費については、⑥汚水処理原価についても同じことが言える。

④企業債残高対事業規模比率は依然として高いが、使用料収入が増加したことと、改善が見られ、着実に企業債残高は減少している。



2. 老朽化の状況



全体総括

使用料収入だけでは経費を賄うことができておらず、依然として一般会計からの総入金に依存しており、独立採算による経営ができていない。

また、汚水処理に係る費用が高いまま推移しているため、引き続き営業費用の削減に取り組む必要がある。加えて水洗化の促進も必要である。

施設の長寿命化を合理的、計画的に進め、効率的な業務を行なうことが必要である。